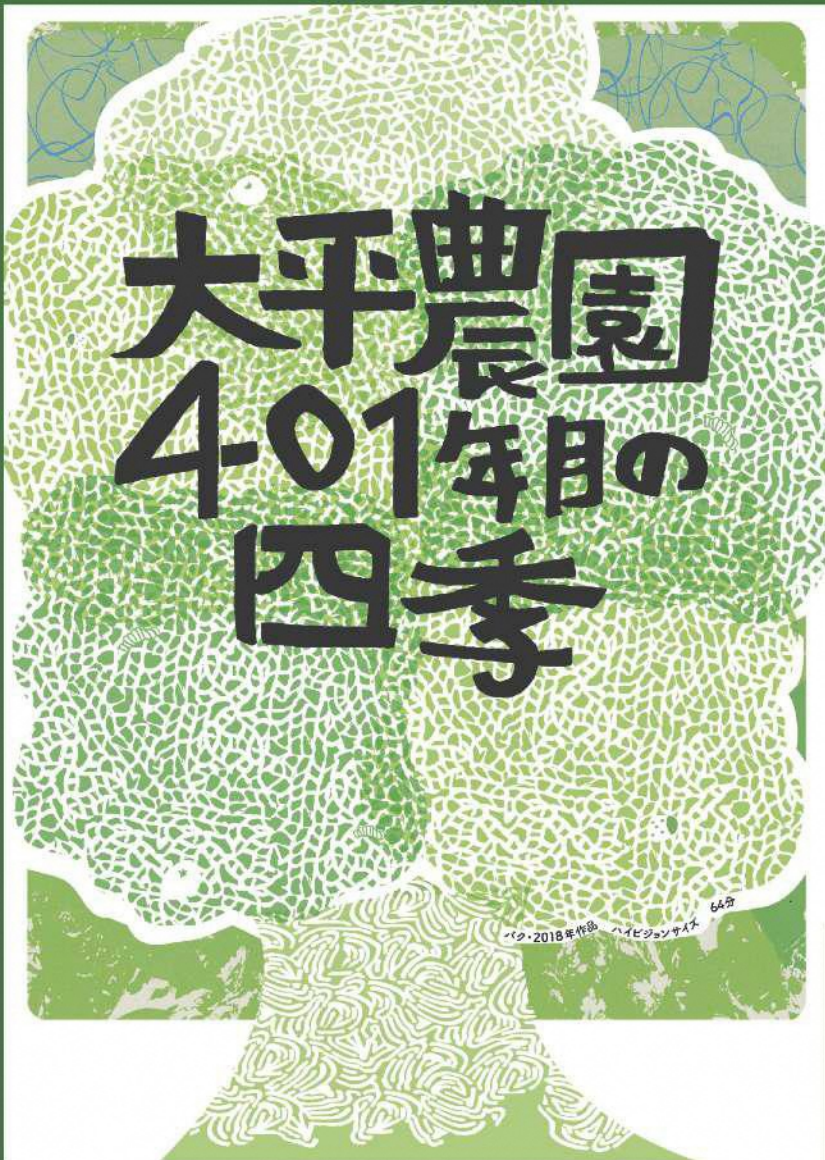


映画上映会&監督さんとシネマトーク



畑と結ばれた台所ほどぜい沢な食生活はない。
旬あふれる食卓にはいつも土とお日様の匂いが
する。本作品は40年以上も昔にそれを実現した
世田谷の大平農園と消費者団体・若葉会の今を
伝える。両者をつなぐ絆は殺生のない有機農法
の小宇宙だ。

—— 瀬戸山玄（「野菜の時代」著者）

2024年

9月7日（土）

時間 13:30~15:30

- ・ 場所 アキシマエンスシ シアタールーム
- ・ 参加費 ¥500
保護者同伴の小学生以下無料
- ・ 定員 40人（申込順・市内在住在勤者優先）

・ 受け付け開始 8/5 より

申込 昭島市社会教育課

電話 042-544-5111 内線 2253

受け付け時間 午前8時30分～午後5時15分

電話受付は平日のみ（土日祝は市役所はお休みです）



質問はここから

事前に お子さんから&大人からの
監督への質問を受け付けます。

<https://logoform.jp/f/iAA4m>



大平農園の過去、現在、未来

大平農園は東京都世田谷区で、およそ400年続く専業農家です。そして農業と化学肥料を一切使わない有機農業のパイオニアでもあります。今も毎週2回、野菜の出荷を続けています。都会の喧騒から農園に入ると空気が一変します。土の香りにひかれてやってくるのは、虫や鳥だけではなく、農業を学びたい人、主婦、悩める若者…様々な人がやってきて損得抜きで畑を手伝っていきます。東京のまん中にありながら、大平農園が今日まで続いたのは、農園主の努力とともに、こうした人々の支えがあったからでした。奇跡のように続くこの農園の行く末を見守りたいと思い、2016年から撮影を始めました。

「401年目の四季」という本タイトルの年数は厳密なものではなく、農園の長い歴史とこれから始まる新たな1年という意味を込めたものです。

—— 森信潤子



企画・撮影・編集 —— 森信潤子
音楽 —— トウヤマタケオ
「E.V.A」徳澤青弦
編集協力 —— 半谷守廣 望月博文
デザイン —— 山本祐衣
協力 —— 大平農園 若葉会
プロデューサー —— 山本常夫

